事業番号 00134

事務事業名		市税審議会運営事業								
担当部名	税務部	室課名	税制課	室課長名	當義久					

1 事務事業の概要

	争務争系の機	大 安																	
(1)	事業開始年度	昭和32年度	,		改	な正 規	見則で	改正:市和	悦審議	会委	員の	構成	変更(市詞	議会議員(6人と学識	経験者7人	計13人→	·学識経験者	7人以
(2)	直近の改正	平成24年度	,		内	容内	内)												
(3)	根拠法令等	執行機関の	附属榜	幾関に	関する	条例、	市稅	福議会	規則										
		☑ 全部			-部(上	·乗せ、	横出	出し等あり	J)			□ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)							
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックし	た場合	合はそ	の説明	1												
(5)	総合計画の体系	章	8 ;	基本計	十画推:	進のた	:めに	<u> </u>					節		4		細節	0	·
		<u> </u>				区分	}	☑ 内部	管理			建設	 事業	□ その	D他			<u>:</u>	
		対象 (誰を、何を)				範囲:	等下	 市税審議	会委員	<u> </u>									
(6)	目 的	目標 (どういう状態)	こしたし	いのか))	市長の	の諮	問に応じ	、市税	 !の賦	課徴」	収に [・]	ついて調	査審議し、	答申する。	,			
		結果 (どのような効!	里が得	にわる	<i>ው</i> ሐ)	市税の	の賦	課徴収の)適正•		化を[図り、	かつ、事	務の円滑	化を期する	ることができ	·る。		
(7)	事業概要 	地方税法改立	正等に	に伴う下			E案等						答申をす			1		1. = 44	
(8)	予算コード	会計 ————	1		款 ———	2		項 	2		目		1	大事業	3	中事業	1	小事業	1
			項	自							6年度 年度)					27年度 5年度)		平成28 (2016年	
								予算(千円)		—— 決	: 算(·	千円)	予算	(千円)	決算見記	込(千円)	予算(日	- f円)
		身 人件費		業費(A)		1				180			119)	120		119)	60
				職員数		人		0.10		0.10		0.10			0.10)	0.10)	0.10
				総額(千円	9			830	795				1	836		817	
	古光串上			費(A-			_		1,	,010					956		955		
(9)	事業費と 財源の内訳		符正	財源((——— 国	G)					0	0				(0		0
		内		 府						0		0			(0		0
		訳 <u> </u>		その作	 也					0			0		(+	0		0
			市負	担(D))				1,	,010			914	ļ.	956	3	955	;	877
				地方值	責					0			C)	(0		0
		内		その作						0			C		(+	0		0
		<u> </u>		-般財 						,010			914		956	+	955		877
		□ 直接		†(C+	-D)				1,	,010			914	·	956		955)	877
		口 但13	*	3						1									
		□ 委託	£ 77 1+	- <u>立</u> 7	未红			委託先	_	2									
	実施方法	□ 安市	じべは	一部	安武					3									
(10)							主	な委託内											
	(該当するもの は全部チェック)	1 + -	h 🛆 🥠	ᅀᄱ				ᄎᄱᆇ	_	1									
		□ 補助	川金・1	貝担金	Ĩ			交付先	-	2									
		□ その	□ その他					内容	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3										

			指標項			項目		26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			市税審議会開催	回数	目標値	(単位:回)		3.00	2.00	2.00
		指標 内容			実績値	(単位:回)		2.00	2.00	
	1					達成度(%)		66.7	100.0	
		目標値	市税審議会開催	回数	単位当た	総事業費(単位:千円)		457.00	477.50	
1) T		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		457.00	477.50	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
$\widehat{}$		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2) 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た			0.00	0.00	
		方法	₩ =±b 4₹ FA ±v		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
の の が 困 指	1	活動 内容	子誠栓缺有とし	ての広い見識を活かして	調宜番譲╹合り	₽9る。	目標	適比で公工	Eな税務行政の運営	EI∟ 命与 ∮る。
品難な場合 で示す	2	成果 内容	市長の諮問に応	じ、市税の賦課徴収につ	いて調査審議	し、答申する。	達成状況		るが、数値等で成り	に対しては有意義 果を表すことのでき
		4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮小	\		廃止 □	終期の設定
(4)総	合評	-	評価の説明	も薄れてきていること 義が薄れてきている 一方、地方税法改 在のところ、他市と同 が増加していくと考え	と、パブリック 。 正により法律 司様に参酌基 えられ、市税 究者や税理士	ていないこと、議会選出コメントなど他に広く市場の範囲内で課税標準に変を定めて審議会への諮問が必要である。 おい の 学	i 民意見る の特例率 いるが、 要である。	を聴取する ※を定める 地方分権 と考えられ	方法があることが「わがまち特例」が が推進される下で る。	いら、継続する意 が創設された。現 ごわがまち特例」

所属					
事務事業	養番号 00134	事業名	市税審議会運営事業	事業区分	内部管理

	<u>現点からの</u> 5の視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
計四	1の代点	出量品			
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	_	
(1)	妥当性 (20点)	14	b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
	(20点)		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(2)	有効性	16	b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
(2)	(20点)	10	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	i	
(3)	効率性		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
	(20点)	12	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	······································	
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	·····································
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	:	
					·····································
	公平性				
(4)	(20点)	0			
			内部管理		
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			・		 点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		711.
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	 点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	 点
(5)	能性	12	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	<u> </u>	<i></i>
	(20点)		©	1	 点
			C. 足期的に比較・分析してあり、事業責の水準は高い。もしては比較・分析までできていない。(「点) 	I	
				-4	
			c. 現在の事業のあり方では、期待する事業効果は得られない。(1点)	ı	点
	「点合計 点満点)	67	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 税制課	事務事業番号 00134	4		
2 各視点からの評価の点数で	では表れない事項(必要に応じ	て記載)	•	
3 事務事業の現状分析				
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部	として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可		妥当性 20 15 0 5 勿率性	
(3)現状分析	市税審議会は、市長の諮問機関 要事項について広い視点から意見 たものである。 平成27年度においては3件の諮	見をいただき、適〕	正かつ公平な税務行政の推	演者で構成され、市税制度の重 É進に反映する目的で設置され
4 その他(国・府の動向など、	当該車業に関係する特記車で	百 /		
サ (V) (四 内) (V) 割) 円(なく、	コの尹木に因ぶりの付記事が	只/		

事業番号 00135

事務事業名		諸税課税事業							
担当部名	税務部	室課名	税制課	室課長名	當 義久				

1	事務事業の概	发																		
(1)		不明			收正 下	市税条	€例改正	:軽自	動車	■税の科	2 全率	変更								
(2)	直近の改正	平成28年度		Į,	内容															
(3)	根拠法令等	地方税法、市	税条例																	
		□ 全部] 一部(_	上乗せ、	、横出	し等あり	J)		☑ t	こし	(国•府制	削度もしく	は法令等で	市	が実施	する義	務あ	, ())	
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	ックした	:場合はぞ	その説明	月														
(5)	総合計画の体系	章 8	基	本計画推	進のた	こめに						節		4			細節		0	
		<u>.</u>			区分	分	」内部	管理		口	設	事業	□ そ 0	の他					-	
		対象 (誰を、何を)			範囲	等 軽	圣自動車	等の誤	果税?	客体										
(6)	目的	目標(どういう状態に	こしたいの	つか)	課税	対象を	を捕捉し	、適正	•公3	平な課程	党を	行う。								
		結果 (どのような効果	きが得られ	れるのか)	市税」	収入の	の確保													
(7)		諸税(軽自動	車税、ī	もたばこれ	说 、入 湯	易税、ӭ	事業所移	兑) の 詩	果税≅	事務	-						<u>.</u>			
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2		項	2		目		2	大事業	1	1	中事業	3	<u>'</u>	小事業	1
							6年度 年度)				平成 (201					平成28 ⁴ (2016年				
					予算(千円)		決	算(-	千円)	予算	(千円)		決算見	<u></u> 込(千F	円)	予算(千	円)		
		事業費(A			<u> </u>	12,375				16,229)	11,76	3		10	,947		14,085		
		人件費 ·	職員数		ᄉ				7.00			8.00			0			7.00		5.40
		***		額(B)	千円	<u> </u>	58,100				63,576		58,464	+			,464		44,118	
	事業費と			(A+B)		70,47							+				69	,411		58,203
(9)	事来真と 財源の内訳	1	持定財法	<u>源(U)</u> 国					48 0	+			+					41	 	54 0
		内 訳		<u>一</u> 府					0			C						0		0
			そ	· の他					48			79)	48	8			41		54
			市負担	∄(D)				70,	427			79,726	6	70,179	9		69	,370		58,149
		 		方債					0			C)	(0			0		0
		訳		·の他					0						0			0		0
		<u> </u>		投財源 ———— C+D)					427 475			79,726 79,805		70,179 70,22	-			,370 ,411		58,149 58,203
			実施				70,	473			79,000	<u>' </u>	70,22	/		09	,411	<u> </u>	30,203	
			<u> </u>					1	共同印	刷起	 5日本株	式会社								
		☑ 委託	□ 1+_	·部委託		į	委託先		2											
	実施方法	凶 安心	1 0	마女마					3											
(10)						主な	委託内			動車税	の軸	長票印字.	及び封入	発送業務						
	(該当するもの は全部チェック)	— 1+ 51	△ ₽¹	h			*	_	1											
		□ 補助	金∙負打	但董		•	交付先	_	②③											
			□ その他																	

事業番号 00135

<u>2 評价</u>	<u>ш</u> • у	1指標等	<u>.</u> 指標項目]		項目		平成2 (2014		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
					目標値	<u>i</u>)	単位 :)		0.00	0.00	0.00	
		指標 内容			実績値	<u>í</u>)	単位 :)		0.00	0.00		
	1					達成度(%)		0.0	0.0		
~		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00		
1 ·		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00		
活動指標					目標値	<u>1</u>)	単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	<u>i</u>)	単位 :)		0.00	0.00		
	2					達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00		
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00		
					目標値	<u>i</u>)	単位 :)		0.00	0.00	0.00	
		指標 内容			実績値	<u>í</u>)	単位 :)		0.00	0.00		
	1					達成度(%)	0.0		0.0		
$\widehat{}$		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00		
2) 成		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00		
成果指標					目標値	<u>í</u>)	単位 :)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	<u>í</u>)	単位 :)		0.00	0.00		
	2					達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00		
		方法			りコスト		(単位:千円)		0.00	0.00		
の3 が)	1	活動 内容	課税対象を捕捉し 	ン、適正な申告を促し 、	課税業務を行っ	00		地方税法・市税条例に基づき、適正・公平な 課税を行う。 目標				
困難な場合	2	成果 内容	適正な課税により	り、税収を確保する。					平成27年 39件	度各税目の調定台	合計件数 69, 2	
		4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続		□ 縮小		□ J	廃止 □	終期の設定	
(4)総1	合評		評価の説明	地方税法及び市場軽自動車税につい								

所属名	税制課				
事務事業番号	00135	事業名	諸税課税事業	事業区分	内部管理

評価	の視点	評価点	※内部官理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点						
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。						
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点				
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。						
(4)	妥当性	40	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)						
(1)	(20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	··i···································					
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点				
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。						
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点				
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	•					
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点				
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	.i					
(0)	有効性	40	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点				
(2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	.i					
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点				
(3) 有效点			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。						
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点				
			①単位当たりコストは適正ですか。	:					
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点				
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	.i					
<i>(</i> - <i>)</i>	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点				
(3)	(20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	.i					
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点				
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。						
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点				
			①サービスの対象範囲は適正ですか。						
			内部管理		点				
			②サービスの水準は適正ですか。	.i					
(4)	公平性		内部管理		点				
(4)	(20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。	.i					
			内部管理		点				
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。						
			内部管理		点				
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	:					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点				
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	.i					
/ - \	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点				
(5)	能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	.i					
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点				
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	.i					
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点				
		92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))						

事務事業番号	00135										
ま表れない事項(必要に	応じて記載)										
主要な政策課題	☑ 🛱	『として重点的な取組	□ その他								
妥当性 20 15 10 5 0 公平性 効率性											
3)現状分析 適正課税と市税収入の確保に資するため、課税客体の的確な把握に努めている。											
∜該車業に関係する烘≒	1車項)										
1改事未1〜 労 於9 の特託	于识)										
	主要な政策課題 としての取組 正課税と市税収入の確保	ま要な政策課題 ☑ 音としての取組 ☑ 音	□ 主要な政策課題 □ おとして重点的な取組 □ 部として重点的な取組 □ がいます。 ままままでは、 □ をしての取組 □ がいます。 □ をして重点的な取組 □ をして更加度に変更を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	主要な政策課題							

事務事業名	税務システム事業													
担当部名	税務部	室課名	税制課	室課長名	當義久									

1 事務事業の概要

	于初于木V/W														
(1)	事業開始年度	平成26年原				なし									
(2)	直近の改正	なし		ſ	内容										
(3)	根拠法令等	地方税法、	市税条例	J											
		☑ 全部] 一部(_	上乗せ	、横	出し等あり)		ロなし	∠(国• 府制	度もしくは法令等です	市が実施する義務あ	り)		
(4)	市単独事業区分	一部にチ	ェックした	:場合はそ	その説明	明									
(5)	総合計画の体系	章	8 基	本計画推	進進のた	こめし	Ξ			節	4	細節	0		
					区	分	☑ 内部管	理	□ 建	没事業	□ その他	'			
		対象 (誰を、何を	·)		範囲	等	税務システム	<u>.</u>							
(6)	目 的	目標 (どういう状態		つか)		・ 幹系システムを根本的に見直し、政策の実現の支援・制度変更への柔軟な対応・ベンダーや個人に依存し ハシステムの構築・運用を目指す。									
							ナンバー制度への環境に対応するとともに、市民サービスの向上、政策との柔軟な連携、業務の効率化・化、コストの適正化を達成。								
(7)	争未似女	吹田市基幹 て再構築し			築方針(に基	づき、現在、 <i>;</i>	大型汎戶	用機を利	用している和	説務システムについて -	て、より柔軟で効率的 - -	なシステムを目指し		
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2		項	2	目	1	大事業 4	中事業 1	小事業 1		
			項	目				平成2 (2014	6年度 年度)		平成2 (2015	7年度 年度)	平成28年度 (2016年度)		
						•	予算(千	円)	決算	(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)		
			事業費	₹(A)			96,01			74,056	507,452	490,021	439,974		
		人件費		職員数		円	0.50					0.50			
				総額(B)			4,15					4,176			
	事業費と	3	総事業費				1	00,162		78,030		494,197			
(9)	財源の内訳		特定財	原(U) 国				16,574		0	12,933 12,557	25,958 25,600	· ·		
		内 		<u>'''</u> 府		16,574				0		358	4,644		
		訳 · ·	そ	·の他				0		0		0	0		
			市負担	<u>3</u> (D)				83,588		78,030	498,695	468,239	439,415		
		$\overline{}$	Til	方債				•	0		0				
		I da						0		0	0	0	0		
		内 訳 	そ	-の他				0		0	0	0	0		
		内 訳)	そ 一点	・の他 般財源				0 83,588		78,030	0 498,695	0 468,239	0 439,415		
			そ 一般 財源計(・の他 般財源				0		0	0 498,695	0 468,239	0		
			そ 一点	・の他 般財源				0 83,588 00,162		78,030 78,030	0 498,695 511,628	0 468,239	0 439,415		
			そ 一般 財源計(接実施	の他 般財源 C+D)				0 83,588 00,162		78,030	0 498,695 511,628	0 468,239	0 439,415		
	□		そ 一般 財源計(の他 般財源 C+D)			1	0 83,588 00,162		78,030 78,030	0 498,695 511,628	0 468,239	0 439,415		
(10)	実施方法		そ 一般 財源計(接実施	の他 般財源 C+D)		Ì	1	0 83,588 00,162 (1) (2) (3)	富士通村	0 78,030 78,030 朱式会社関i	0 498,695 511,628	0 468,239	0 439,415		
(10)	(該当するもの	直重	そ 一般 財源計(接実施 託又は一	·の他 般財源 C+D)		Ì	季託先	0 83,588 00,162 ① ② ③ 基幹 ①	富士通村	0 78,030 78,030 朱式会社関i	0 498,695 511,628 西支社	0 468,239	0 439,415		
(10)		直重	そ 一般 財源計(接実施	·の他 般財源 C+D)		主	5 委託先	0 83,588 00,162 ① ② ③ 基幹 ① ②	富士通村	0 78,030 78,030 朱式会社関i	0 498,695 511,628 西支社	0 468,239	0 439,415		
(10)	(該当するもの	直重	そ 一般 財源計(接実施 託又は一	·の他 般財源 C+D)		Ì	季託先	0 83,588 00,162 ① ② ③ 基幹 ①	富士通村	0 78,030 78,030 朱式会社関i	0 498,695 511,628 西支社	0 468,239	0 439,415		

事業番号 00136

2 評		指標等	指標項目	1		項目		26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
~		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
1)		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 。 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00		0.00	
<u> </u>		活動	吹田市基幹糸シス 	ステム(税務システム) <i>の</i>	⊅冉構築•運用			平成29年	1月稼働	
の 3 が〜	1	内容					目標			
困指難標なる			税務システムの構	構築						ステム構築、データ
な示合す	2	成果 内容					達成 状況	移行要件员	と我中	
			\\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	I I						
		4	今後の方向性 (実施計画)	□拡充	☑ 継続	□縮小	`	□易	発止 □ 5	終期の設定
				関係部署と連携を密	でにしながら、	吹田市基幹系システム	ム再構築	方針に基づ	づき業務を推進し	ている。
(4)総1	合評 [。]		評価の説明							

所属名	税制課				
事務事業番号	00136	事業名	税務システム事業	事業区分	その他

	5の視点	ᄪᄦᅑ	アエツン項目 【ノルダ・ノングーユー (選択して)に合い。】 公合設向3点両点							
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。							
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点					
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。							
(4)	妥当性	00	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)							
(1)	(20点)	20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。							
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点					
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。							
		(上性) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	5	点						
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。							
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点					
			②事業の目的と受益者が一致していますか。							
4 - >	有効性		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点					
(2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。							
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点					
(' \) '			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。							
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点					
			①単位当たりコストは適正ですか。							
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点					
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。							
(5)	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点					
(3)	(20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。							
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点					
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。							
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点					
			①サービスの対象範囲は適正ですか。							
			内部管理		点					
			②サービスの水準は適正ですか。							
(-)	公平性		内部管理		点					
(4)	(20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。							
			内部管理		点					
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。							
			内部管理		·····································					
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。							
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点					
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。							
(-)	持続可	4.0	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点					
(5)	能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。							
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点					
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。							
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点					
	5点合計 点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))							

所属名	税制課	事務事業番号	00136		
2 各視点	いらの評価の点数で	は表れない事項(必要に	応じて記載)		
3 事務事	事業の現状分析 		ı		
(1)本事業	の位置付け	主要な政策課題 としての取組	✓	部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点	からの評価結果	1	持続可能性公平性	妥当性 20 15 10 5 0 材率性	
(3)現状分	·析	各種協議を重ねているところ れば、本市の効率的な行政に	であり、最適なシス こ寄与する。	ステム再構築に向けて邁進して	いる。システムを運用開始す
4 その他	也(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記	事項)		

事務事業名	課税納税証明等発行事業													
担当部名	税務部	室課名	税制課	室課長名	當 義久									

1 事務事業の概要

<u> </u>	争務争耒の機	汉安																			
(1)	事業開始年度	不明				女正 「	力担	改正:本	- 人称	字钞書	質の:	白加									
(2)	直近の改正	平成28年	F度		þ	内容 I	ሃ ያ ኦፒ ነ	· 以 止 · 4	· / \ 116	生心百万	ラップ	브//니									
(3)	根拠法令等	地方税法	、税務	証明事	務にお	ける本	人硌	室認につ	いて	の内規	₹.										
		□ 全部			一部(」	上乗せ、	横出	出し等あ	,り)		V	なし	ノ(国•府ᠻ	制度もし	しくは流	よ令等で	市が実施	する義務は	あり)		
(4)	市単独事業区分	一部に	チェック	した場	合はそ	の説明	月														_
(5)	総合計画の体系	章	8	基本	計画推	進のた	めに	<u>-</u>					———— 節			4		細節		0	
		<u> </u>				区分	分		部管:			建	———— 没事業	V	その化	<u> </u>			_		
		対象 (誰を、何	「を)			節囲	等	課税台向	—— 帳登釒	禄事項	、収約	納台向	帳登録事 項	<u> </u>							
(6)	目 的	目標 (どういう状	態にした	こいのカ	N)	課税》	課税状況や納税状況について証明書を発行する。														
		結果 (どのような効果が得られるのか) 市民だ						種手続	き等	を行う.	上で娘	必要な	な証明書を	·得るこ	とがで	きる。					
(7)		市民から	市民からの申請により、市税等の課税・納税証明書等を発行する。																		
(8)	H27事業別 予算コード	会計		1	款	2		項		2		目	2	大事	業	2	中事業	2	小事業	1	
			•	項目						平成: (201					-		7年度 年度)			28年度 6年度)	
				予算	[千]	円)		決算	〔千円〕	3	▶算(न	-円)	決算見	込(千円)	予算	(千円)					
		事業費(A)			A)					1,683	3		1,47	8		1,408		1,198	3	3,24	40
		人件費		職員数		ᄉ		3.50		+					3.50		3.50	+	3.5		
			40 ± 3	総額		千円	<u> </u>	29,050													
	市 坐 弗 し			業費(A			30,733			<u> </u>				+					·		
(9)	事業費と 財源の内訳	l -	行人	定財源 国				10,003			3	13,510			-			14,07)	14,00)(_
		<u>内</u>					0)	0				0			0		_	
		訳		 その						10,003						10,003		14,07	-	14,00	_ 00
			市	負担(D)					20,730)	15,783		3		20,637		16,35	7	17,83	35
		\bigcap		地方	債					()			0		0		(D		(
		内 訳 		その	他					C)			0		0		(o l		(
		$\overline{}$		一般則						20,730			15,78	+		20,637		16,35		17,83	
				計(C·	+D)					30,733	3		29,29	3		30,640		30,430	이	31,83	35
		✓ :	直接実							1											
	実施方法		委託又			委託先		3													
(10)							主	な委託	<u> </u>		1										
	(該当するもの は全部チェック)		ᅷᇝᄼ	_ Æ ↓⊓ ·	~			,, ,,, ,,	_	1											
			補助金	•貝担3	<u>जंर</u>			交付先	5	3											_
			<u></u> その他					 内容													

2 評	ЩΟ	指標等	F 指標項目			項目			26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1)活動指標	1			目標	票値	(直	≦位 ∶)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容		実績	責値	(道	並位 :)		0.00	0.00	
						達成度(%	ú)		0.0	0.0	
		目標値		単位:	単位当た		(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法		りコス		一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
				目標	票値	(道	≦位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容		実績	責値	(単	≦位 :)		0.00	0.00	
	2				<u>.</u>	達成度(%	ú)		0.0	0.0	
		目標値		単位当	当 <i>†-</i>	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法		りコス		一般財源(単位:千円)		0.00		0.00	
		指標 内容		目標	票値	(道	並位 :)		0.00	0.00	0.00
				実績	責値	(道	並位 :)		0.00	0.00	
	1				達成度(%)			0.0	0.0		
		目標値		単位当	当た	総事業費	(単位:千円)		0.00 0.00		
2		の積算 方法		りコス		一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標	2	指標 内容		目標	票値	(道)			0.00	0.00	0.00
標				実績	実績値 (単位:)				0.00		
					•	達成度(%	(a)		0.0	0.0	
		目標値のき第		単位当	当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法		りコス		一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
の の が 世	内容							目標	証明申請行する。	者に対し、証明書る	正確かつ迅速に発
困指難標なで			課税・納税証明書の発行						平成27年度証明発行件数74,884件		
な場合	2	成果 内容					達成 状況				
			デ後の方向性 (実施計画) □ 拡充	継続		□縮小		□廃止□糸		終期の設定	
(4)総合評価		価	地方税法に 種手続き添 以上のこと	より証明書発行が 付資料として、窓 とから、今後も現行 スの向上に努め、	《口及 行ど	び郵送におり事業を	よる市民等な	からの申	請に基づ	き証明書を発行	

所属名	税制課				
事務事業番号	01053	事業名	課税納税証明等発行事業	事業区分	その他

評価	兄屈からの fの視点	評価点	※内部官理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点						
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。						
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点				
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。						
(1)	妥当性 (20点)	4.0	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点				
(1)		16	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	·i					
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点				
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	·i					
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点				
		18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。						
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点				
			②事業の目的と受益者が一致していますか。						
(0)	有効性 (20点)		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点				
(2)			③事業は目標どおりに進捗していますか。	.i					
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点				
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	i					
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点				
	効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	:					
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点				
				<u>i</u>					
			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点				
(3)				<u> </u>					
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点				
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	<u> </u>					
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点				
	公平性 (20点)			<u>:</u>					
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点				
		20		<u>:</u>					
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点				
(4)				<u>.i</u>					
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点				
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点				
	持続可 能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u> </u>					
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点				
				<u>.i</u>					
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点				
(5)				: 					
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点				
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	<u>:</u>					
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点				
	「点合計 点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))						

所属名	税制課	事務事業番号	01053					
2 各視点	いらの評価の点数では	ま表れない事項(必要に	応じて記載)	-				
2 車 教 車	事業の現状分析							
	の位置付け	 主要な政策課題 □ としての取組	V	部と	こして重点的な取組		その他	
(2)各視点	からの評価結果		持続可能性公平性	1 1 1	5			
(3)現状分	`析	地方税法により証明書発行 重手続き添付資料として、窓 後、マイナンバーカードの ドマイナンバー制度導入後の	『口及び郵送によ 交付による証明	る市民 MBの発	は等からの申請に基づき証 行件数の減少も考えられ、	明書を発行	している。	
4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)								